

新まちづくり計画 (H16 ~ 18) 事業総括調書

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>施策体系コード</p> | <p>1-4-1</p> | | <p>事業名 デジタルコンテンツビジネスの振興による芸術文化産業の創造</p> |
| <p>担当 経済局産業振興部産業企画課 今泉 011-211-2379</p> | | | |
| <p>全体計画 (当初)</p> | | | |
| <p>事業内容</p> | <p>芸術文化産業の育成に向け、その一翼を担うデジタルコンテンツビジネスにターゲットを絞り、これまで推進してきた札幌市デジタル創造プラザ (ICC) 事業の第2期展開として、ビジネス基盤の確立とクリエイターの集積につながる事業を展開する。 (具体的な事業内容) クリエイターの育成とコンテンツのセールスを担う「プロデューサー」育成事業を推進する(市立大学との連携) 海外クリエイターの活動拠点誘致と内外クリエイターの集積促進事業を推進する。 市内中心部にクリエイターの集積拠点を整備(移転)する。 芸術の森地区(市立高専、アートビレッジ含む)を舞台とした、国際的なクリエイター交流・育成事業を検討する。 ショートショートフィルムフェスティバルを母体とした札幌短編映画祭の開催。</p> | | |
| <p>事業内容 (量・場所・規模等)</p> | <p>平成16年度事業内容 (決算)</p> <p>デジタルコンテンツ・ビジネスセンター事業 クリエイターのコンテンツ開発、制作のサポートを行うほか、マーケティングの開拓、制作されたコンテンツの発信の場を提供するために、札幌市デジタル創造プラザ内にコンテンツの配信システムとなる「デジタルコンテンツ・ビジネスセンター」を構築・運用した。</p> <p>平成17年度事業内容 (決算)</p> <p>コンテンツビジネス支援事業 ・クリエイター人材海外交流事業 海外からスキルの高いクリエイターを招へいするとともに、札幌のクリエイターを海外に交換派遣し、相互に一定期間クリエイターを滞在させ、滞在中に開催された、ワークショップやレクチャー、展示会等を開催した。 ・ショートムービー(短編映画)産業創出事業 ショートムービーの産業化を推進するため、若手独立系監督の作品を集めた国際短編映画祭の平成18年度開催を目指し、映画祭開催準備事業として、映画祭コンセプトの構築や実施計画の策定を行うとともに、国際映画祭が地域で果たす役割等をテーマにしたイベントを開催した。また、札幌の場所(シーン)を題材として制作されたオリジナル短編映画をまとめたDVDの制作を行った。 創造都市さっぽろ (Ideas City SAPPORO) 創出・推進事業 ・創造都市さっぽろ推進事業 海外からクリエイティブ・エコノミーやクリエイティブビジネスに携わる著名人を招へいし、「創造都市さっぽろ (sapporo ideas city)」についてのプレゼンテーション等を行うとともに、札幌を舞台としたクリエイティブビジネスの発展可能性についての公開フォーラムを行った。また、平成18年4月に開校した札幌市立大学とクリエイティブビジネスの連携と可能性についての講演を行った。 ・創造都市さっぽろに向けた調査事業 札幌が「創造都市 (Ideas City)」として、街全体が創造性に富み、クリエイティブ産業が発展するための「まちづくり」に寄与するため、札幌市立大学の開学を始め、芸術の森、アートビレッジ、ICCといった札幌の資源を発掘、整理し、戦略的構築を行った。</p> | | |
| <p>事業内容 (量・場所・規模等)</p> | <p>平成18年度事業内容 (決算)</p> <p>デジタルコンテンツ産業化事業 ・クリエイター人材海外交流事業 国内外の様々な都市の先端芸術等を専門とした団体や芸術空間などの「創造拠点」との間において、クリエイター、コーディネーター等の人材交流を行い、グローバルなクリエイティブネットワークの形成を図った。派遣:2名(メキシコ、オランダ) 招へい:4名(前期~イタリヤ、オランダ、後期~ブルガリア、オランダ) ・札幌国際短編映画祭 (SAPPORO ショートフェスト) 開催 短編映画の産業化を重点的に振興するため、若手独立系監督の作品を集めた国際短編映画祭を開催。第1回開催にもかかわらず、世界70か国から1,797作品を集めるとともに、8,160人の来場者、ワークショップやセレモニーを含め総計で9,476人の参加を得た。また、映像クリエイターの人材育成や映画ロケ地の誘致を目的に、札幌の場所とそこにまつわるエピソードを素材としたオリジナルの短編映画6本を制作し、作品集として一本のDVDにまとめ観光プロモーション、クリエイティブプロモーションのために国内外の映画祭等で配布した(さっぽろムービースケッチ)。 創造都市さっぽろ (sapporo ideas city) 推進事業 平成17年度に行った調査事業及び国際イベント実施成果を踏まえ、今後、札幌が目指す都市ブランドの方向性を示す「創造都市さっぽろ構想(素案)」を取りまとめた。素案の策定にあたっては、元英国tomatoのマネージングディレクター Steve Baker 氏をアドバイザーに迎え、グローバルな視点を備えたものとした。 また、創造都市さっぽろ (sapporo ideas city) を対外的にアピールする場として、Creative conversations 2007を開催。創造経済の世界的第一人者であるフィリップ・ドット氏の基調講演のほか、市長より構想(素案)の内容について発表した。</p> <p>評価 (成果)</p> <p>・NPO法人 S-Air との連携により、これまで本市に招へいした海外のクリエイターは50人を超えた。また、17年度より開始した海外への派遣事業を通して、市内クリエイターのモチベーションも高まっている。従来の人材交流を拠点間交流へと進化させたことで、国際的なネットワークの拡大と蓄積に大きく寄与した。 ・さっぽろムービースケッチのDVDは、国内外の映画祭等を通じて、世界中に札幌という場所とクリエイターのプロモーションが図られた。また、このDVDをきっかけに、海外の映画祭や美術館での上映、テレビ局からの放映依頼がくるなど、世界的なビジネスチャンスに結び付けることもできた。 ・札幌国際短編映画祭には世界中からたくさんの作品と人を集め、この分野での本市の先進性を広くアピールできた。また、マーケットへの作品登録により、市内の事業者やクリエイターがビジネス化を図る土台が構築された。 ・「創造都市さっぽろ (sapporo ideas city)」構想の推進を通じて、庁内外で「創造」をキーワードとした新たな都市ブランドづくりの機運が高まった。また、イベントを通して札幌の新しい構想が</p> <p>課題</p> <p>・平成13年度より着手したデジタルコンテンツ産業振興では、札幌市デジタル創造プラザ (ICC) を中心としたクリエイター人材の育成、国内外とのネットワーク形成において一定の成果を上げてきた。また、18年度からスタートした札幌国際短編映画祭により、世界中のクリエイター及び作品を本市に集め、また、本市のクリエイターや作品を外部に発信していく機能も確立した。 今後は、これらの資源を元に、コンテンツ産業の基礎となる地域の映像産業を育成・強化を進めるとともに、首都圏に依存しない独自の市場形成が求められる。また、当該産業の担い手となる「業界形成」を促進する必要がある。 さらに、地域からコンテンツビジネスを進めていくためには、制作にかかる資金調達も重要な課題であり、コンテンツ制作資金の融資、投資などの検討も進める必要がある。</p> | | |
| <p>19年度以降の方向性 (事業予定)</p> | | | |
| <p>・平成18年度からスタートした札幌国際短編映画祭を継続開催するとともに、世界各国から集まる作品の効率的なアーカイブ化を検討する。また、札幌国際短編映画祭の特徴となる「子ども」を対象としたプログラムや映像教育の充実、海外映画祭との連携、マーケットにおける取引実績の確保を図る。 ・クリエイター人材の育成やネットワーク形成の段階から、コンテンツビジネスの産業化へと振興策の転換を進めるにあたって、市内におけるコンテンツ産業の現況把握を行うとともに、市場形成の手段、映像(ショートフィルム)を中心としたコンテンツ産業振興の方向性等について調査、検討を進める。 ・19年度より観光文化局から事業移管された「札幌フィルムコミッション」と連携して、市内の映像事業者の人材育成、学生を含む次世代を担う若者を対象とした層の拡大を進める。 ・17年度から進めている「創造都市さっぽろ (sapporo ideas city) 構想」については、引き続き企画部と連携して取り組みを進めるほか、19年度については、創造都市実現に向けた具体事業の展開を目指す。</p> | | | |

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書 (単位:千円)

| | | | | |
|---------|-------|--|-----|------------------------------|
| 施策体系コード | 1-4-1 | | 事業名 | デジタルコンテンツビジネスの振興による芸術文化産業の創造 |
|---------|-------|--|-----|------------------------------|

事業費の推移

| 項目 | | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 計 | 進捗率(%) |
|----|--------|------|--------|--------|--------|--------|
| 計画 | 事業費 | | | | 0 | - |
| | 財源 | | | | 0 | - |
| | 国・道支出金 | | | | 0 | - |
| | 市内債 | | | | 0 | - |
| | その他 | | | | 0 | - |
| 実績 | 事業費 | 0 | 26,988 | 46,228 | 73,216 | |
| | 財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | - |
| | 国・道支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | - |
| | 市内債 | 0 | 0 | 0 | 0 | - |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | - |
| | 一般財源 | 0 | 26,988 | 46,228 | 73,216 | - |

計画との差異（予算・事業内容・規模・時期等）

[全体][16年度][17年度][18年度]
 コンテンツビジネス支援事業には、アーティスト・イン・レジデンス事業(文化庁)を統合

主な施設、サービス等の整備水準

| 項目 | 15年度末 (現状) | 16年度末 (実績) | 17年度末 (実績) | 18年度末 (実績) | 18年度末 (目標) |
|----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

関連予算事業内訳

| 予算事業名(小事業名) | 経・臨 | 枠内外 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 計 |
|-------------------------------------|-----|-----|------|--------|--------|--------|
| コンテンツビジネス支援事業 | 臨時 | 枠外 | | 16,389 | | 16,389 |
| 創造都市さっぽろ(Ideas City SAPPORO)創出・推進事業 | 臨時 | 枠外 | | 10,599 | | 10,599 |
| デジタルコンテンツ産業化推進事業 | 臨時 | 枠外 | | | 31,921 | 31,921 |
| 創造都市さっぽろ(sapporo ideas city)推進事業 | 臨時 | 枠外 | | | 14,307 | 14,307 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0 |
| 計 | | | 0 | 26,988 | 46,228 | 73,216 |